

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分  
 【発行日】平成20年12月25日 (2008.12.25)

【公表番号】特表2008-522567(P2008-522567A)  
 【公表日】平成20年6月26日 (2008.6.26)  
 【年通号数】公開・登録公報2008-025  
 【出願番号】特願2007-541922(P2007-541922)  
 【国際特許分類】

H 0 2 P 29/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 2 P 5/00 U

H 0 2 P 5/00 R

【手続補正書】  
 【提出日】平成20年11月4日 (2008.11.4)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

互いに通信すべき少なくとも 2 つの自動化構成要素を有する自動化構成要素において、少なくとも 2 つの自動化構成要素が近距離無線通信によって 0 ~ 2 0 c m の距離にわたって通信し、少なくとも 2 つの自動化構成要素のうち第 1 の構成要素が自動化構成要素のエンジニアリングシステムであり、少なくとも 2 つの自動化構成要素のうち第 2 の構成要素が R F トランスポンダを装備しており、第 1 と第 2 の自動化構成要素の間に空間的近接を形成する際にデータが第 2 の自動化構成要素から第 1 の自動化構成要素へ伝達され、該データが R F トランスポンダに記憶され、該データは最大許容回転数、極数、許容電流および個数など重要な基礎的情報の少なくとも一つのデータを包含することを特徴とする自動化構成要素。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 9  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【 0 0 0 9 】

この課題は請求項 1 に記載の自動化構成要素によって解決される。